

2016-7 年度活動報告(2016 年 10 月 1 日～2017 年 9 月 30 日)

A. はじめに

B. 人材育成事業

1. 勉強会
2. スタディーツアーの開催
3. 他機関との連携

C. 研究事業

D. 実践事業

1. マウシガ村の環境・健康・平和教育
2. 愛泉会への医師派遣
3. 他 NGO などとの連携

E. 事務局業務

1. 事務所
2. 運営
3. 広報
4. 会員

F. 会計(収支報告書も参照)

A. はじめに

2016-17年度は1年を通しての活動を行った2回目の年となった。勉強会の開催、JICA 草の根プロジェクト申請準備を中心に継続することができた。

B. 人材育成事業

1. 勉強会開催

勉強会は3クールを終了した。初年度の「抄読会」と「寺子屋」、2年目の「連続勉強会」と「寺子屋」を引き継ぐ形で、グローバルヘルスのさまざまなトピックに関する勉強会を合計11回行った。(初回からは50回となった。)うち3回はゲストスピーカーを招いての開催、残り3回は事務局(代表)、4回は役員がスピーカーとなった。(表1参照)

2. スタディーツアーの開催

2017年8月26日から9月2日に、名古屋市立大学看護学部国際保健サークル Activity of Global Health=AGH からの依頼により、クローズドのスタディーツアーを開催した。ツアー参加学生が、以前から団体が交流のあった、マウシガの小学校の小学生との交流、パーツ大学のフィールド実習や講義への参加を行なった。11月に名古屋市立大学看護学部で、12月に当法人勉強会で報告会を実施した。

3. 他機関との連携

2016年12月に、名古屋市立大学看護学部とアジア保健研修所が共催(一部JICA中部が共催)した「健康をささえる社会のしくみを考えよう」を支援した。資料集の編集を行っていたが、年度内には発行できなかった。(2017-18年度前半に発行予定)

C. 研究事業

2016-17年度は、研究事業は実施しなかった。

D. 実践事業

1. JICA 草の根事業(支援型)申請準備

「東ティモール・ディリの保健センターにおける、保健情報の質改善と活用(仮題)」の来年度(2018年6月)の申請を目指している。2017年3月14日に、アジア保健研修所の協力を仰ぎ、「アイデア相談」についてのブレインストーミング(参加者5名)を行なった。8月23日にはJICA中部センター市民協力課での「アイデア相談」を行い、次回は、提案書の形で事前相談に臨むことになった。

2. マウシガ村小学校との交流

スタディーツアーの折に、教諭らとのディスカッションでスタディーツアーを通じた交流を継続することを話し合った。

3. 愛泉会への医師派遣

2014年8月5日付で交わした法人委託契約について、2017年3月31日に3度目の更新を行ない、土曜日午前中の地域医療連携室への医師派遣を継続している。老人介護施設と在宅の訪問診療が主な業務になっている。

4. 他 NGO などとの連携

アジア保健研修所(AHI)との連携を継続している。2016-17年度は、「健康をささえる社会の仕組みを考えよう」を中心に協働を行った。

E. 事務局業務

1. 事務所

現在、名古屋市中村区名駅南のNPOステーション賃貸を継続している。2016年4月より、机1つ、書庫2つ、及びキャビネット設置料の13,000円/月(+消費税)の契約となっている。2017年末を目処に、登記住所である以前の事務所に戻ることを検討中。それに伴い、電話・インターネットの契約内容も見直す。

2. 事務局運営

代表理事:2016年2月より、Bridges in Public Healthは金曜日夕方3時間と土曜日午前の非常勤を継続している。土曜日は愛知国際病院への派遣となっている。現在の事務員は年度内で終了し、後任が8月より週半日(原則として金曜日午後)の勤務で引き継いでいる。

経理、納税は、決算期のみ、税理士への相談を行っている。法人登記関係については、必要時のみ司法書士のアドバイスを受けている。

3. 広報

「大学病院医療情報ネットワーク研究センター(umin)」のホームページサービス上のサイトを利用している。利用料は無料であるが、サイト構築と維持は株式会社プロテックに引き続き依頼している。ウェブサイトと連動させてフェイスブックページも継続している。

4. 会員

2016-17年度末で個人正会員28人(うち終身会員4人)、個人賛助会員3人、団体会員2である。新規入会は1件あった。前年度までに入会済みの会員については会費の納入依頼ができなかった。

F. 会計(収支計算書も参照)

2016-17年度の収入総額2,438,903円、納税を除く支出総額1,237,826円であった。納税前収支差額は1,201,077円であった。税金額286,900円を差し引いて、決算額は914,177円の見込みである。今年度末の純資産合計は7,5882,636円となった。

表 1. 勉強会実績 於:昭和生涯学習センター 他

回	日時	内容 ¹⁾	参加人数	担当
1	10月28日	シーズン1・2振り返り、保健医療人材の国際採用に関するWHO世界規範	4	樋口倫代
2	11月25日	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの基礎	9	樋口倫代
3	1月27日	地域の人々の健康を支えるために ー起業するという選択ー	7	近藤麻理
4	2月24日	「健康を支える社会の仕組みを考えよう」を振り返って	4	樋口倫代
5	4月21日	カンボジア地域精神保健プロジェクトのその後	12	西尾彰泰
6	5月19日	国際協力NGOが国内でしていること	9	林かぐみ
7	5月26日	韓国高齢化の状況と介護保険(AHIとの共催)	9	キム・キースン
8	6月30日	保健情報はなぜ大切か?	7	樋口倫代
9	7月9日	「人々の生活と人生を支える医師」本田徹氏を囲む会	34	本田徹
10	7月19日	保健医療経済学とは?	6	本田文子
11	8月25日	科研費研究から草の根事業へ ー研究と現場をつなぐミクロネシアの肥満対策	3	水元芳